

第4回議会報告・意見交換会 開催結果報告書

1 開催日時

令和元年7月29日(月)、30日(火)、8月1日(木)

午前10時、午後3時、午後6時

2 場 所

各地区市民センター

3 参 加 者

(1) 議 員 10名

(2) 市 民 65名 (弥生 5、幾春別 8、山の手 7、幌内 4、岡山 8、唐松 9、
美園 8、三笠 16)

4 意見交換会

議会の説明責任を果たす事や、市民の意見を聞きながらまちづくりに反映していくため、議会報告及び意見交換を行いました。

○今回の意見交換会で多く質問された事項として、美術館の建設、市立病院の問題、東清住地区養豚場の臭気に関する問題について、意見、要望等がありました。(一部抜粋)

【美術館について】

【市民の主な意見】

- ① 美術館は必要なのか。賛同している市民はほとんどいないのではないかと。市民の意見を聞かないで、なぜ、その予算を市議会で認めたのか。
- ② 美術館自体は国の予算で建てたとしても維持管理費がかかるのではないかと。
- ③ 美術品だけではなく市の歴史など他市との違いをつけることが必要ではないかと。

【議会の対応】

- ① 9月定例会で一般質問
議会としても三笠市全体の活性化につながるようしなければならぬため、高校生レストランとの連携による相乗効果によってにぎわいを創出していけるよう注視していきたい。
- ② 3月の定例会で美術館建設について提案され、全額、地方創生交付金で建てられるとの説明から、建設費が全て国の経費で賄えるにせよ、維持管理費が掛かる事になるため運営手法は議会としても注視していきたい。
- ③ 地元にゆかりのある方の絵を飾ることを基本として、美術館だけで運営するのではなく、絵画教室などイベントを行うことができる研修場所(部屋)のスペースも設ける予定である。

【病院問題について】

【市民の主な意見】

- ① 予算が掛かり過ぎている。民間なら市立病院の存続は考えられない。患者が少ないのに職員が多い。小さくても活気ある病院にしてほしい。
- ② 救急車で市立三笠総合病院に運ばれた後、他の病院へ運ぶのは時間だけ費やすことに疑問がある。
- ③ 病院のサービスが悪い。改善策はないのか。

【議会の対応】

- ① 平成 28 年の市民説明会で 5 年間は現状維持しながら今後のあり方を検討する。残り 2 年半であるが、市民の安心安全を守るためにも必要施設である。
議会としても特別委員会で議論し、今後の見通しは立っていないが、注視していく。
- ② 市外でもかかりつけの病院があれば、直接搬送するように緩和されてきた。家族等が掛かりつけ病院がわかるようにしておくとのスムーズに行くのではないかと。
- ③ サービス向上委員会を設置して検討することになっている。

【東清住地区養豚場の臭気について】

【市民の主な意見】

- ① 議会として平成 30 年 12 月議会で決議を出したが、業者にどのような対応をしたのか。また、議会として悪臭の確認をしたのか。決議を 12 月に出したのはなぜか。
- ② 最近臭いが収まっているものの再度、臭いが発生したらどうするのか。
- ③ 臭気測定の時刻は何時なのか。臭いが強い早朝にやってほしい。業者が無理なら職員でもできないか。

【議会の対応】

- ① 行政処分として 10 月 12 日から 2 カ月間の使用制限命令が施設に対し通知されていた最中に訴訟へと移行した動きや、平成 30 年 8 月に行った議会報告会にて市民から強い要望もあったことに鑑み、行政との歩調を合わせて裁判に臨むため、12 月に決議した。
決議は、業者に渡すものではなく、議会としての意思表示を行ったものである。
また、議会として平成 24 年の 5 月から常任委員会の調査事項として取り上げ状況を確認し、唐松地区に居住している議員が毎日状況を把握し、各議員と情報共有している。
- ② 総合常任委員会でも調査をおこなっているが、臭いはあっても基準値を超えていない。現在の飼育頭数が 3000 頭くらいで清掃も徹底されていると考えられるため、裁判結果がどうであれ議会としても引き続き注視していく。
- ③ 臭気測定は業者に委託しており、午前 11 時ころと午後 2 時ころに実施している。早朝は測定していないが、市長初め職員が早朝や夕方巡回し臭気の確認を行っている。

○その他の意見、要望等について次の事項がありました。（一部抜粋）

【市民の意見】

- ① 道路（市道）の管理として草刈の実施方法はどのように行っているのか。
- ② 高速インターから大型車が真っ直ぐ降りた市道から道道三笠栗山線との交差点に差し掛かるときの巻き込みなどの危険があり、通学路でもあるため児童の交通安全対策についてどのような対策しているのか。

- ③ 唐松春光町から藤枝町に向かう交差点が危険であり、事故も起きているし、バスの停留所から見通しも悪いが何か信号機の増設など改善策はあるのか。
- ④ 高校生レストランについて、市民と市外の利用割合はどのようになっているのか。

【議会の対応】

令和元年第3回定例会の一般質問や総合常任委員会で調査を行い下記の回答を得ています。

- ① 市内の道路の草刈りについて、手刈りは主に住宅密集地を3工区に分けて年1回6月下旬から7月中旬にかけて実施、機械刈りは主に郊外で市内全域を1工区として、6月下旬から9月上旬にかけて実施している。草刈り実施後にも歩行に支障をきたしている場所や行き届かないところもあるため、要請があった場合はパトロールを行い現状確認し適宜対応していきたい。
- ② 平成31年2月に道路管理者、警察、学校、教育委員会が合同で通学路の危険個所を調査し、警察に対し横断歩道の設置について要望しましたが、現状は安全確保が図られているとの回答がありました。しかし、今後も学校、教育委員会が連携し、児童生徒に対する安全指導は徹底したいと考えている。
- ③ 現在、唐松春光町と弥生藤枝町との交差点には手押し信号がありますが、通常的信号機の設置について要望しています。現在のところ公安委員会の調査結果から1時間当たりの交通量が300台以上でなければ通常的信号機はつかない状況ですが、イベント時などは交通量も増えていることから引き続き信号機の設置については要望していきたい。
- ④ まごころきっちは1日平均192食くらいで、平成30年のオープン7月から令和元年7月末までで、約37,300人の方が利用している。比率は市内30%、市外が70%程度となっている。

この他にも多数の意見が寄せられました。今後も市民の皆様から頂いた貴重な意見を行政に反映できるよう議会として努めていきます。